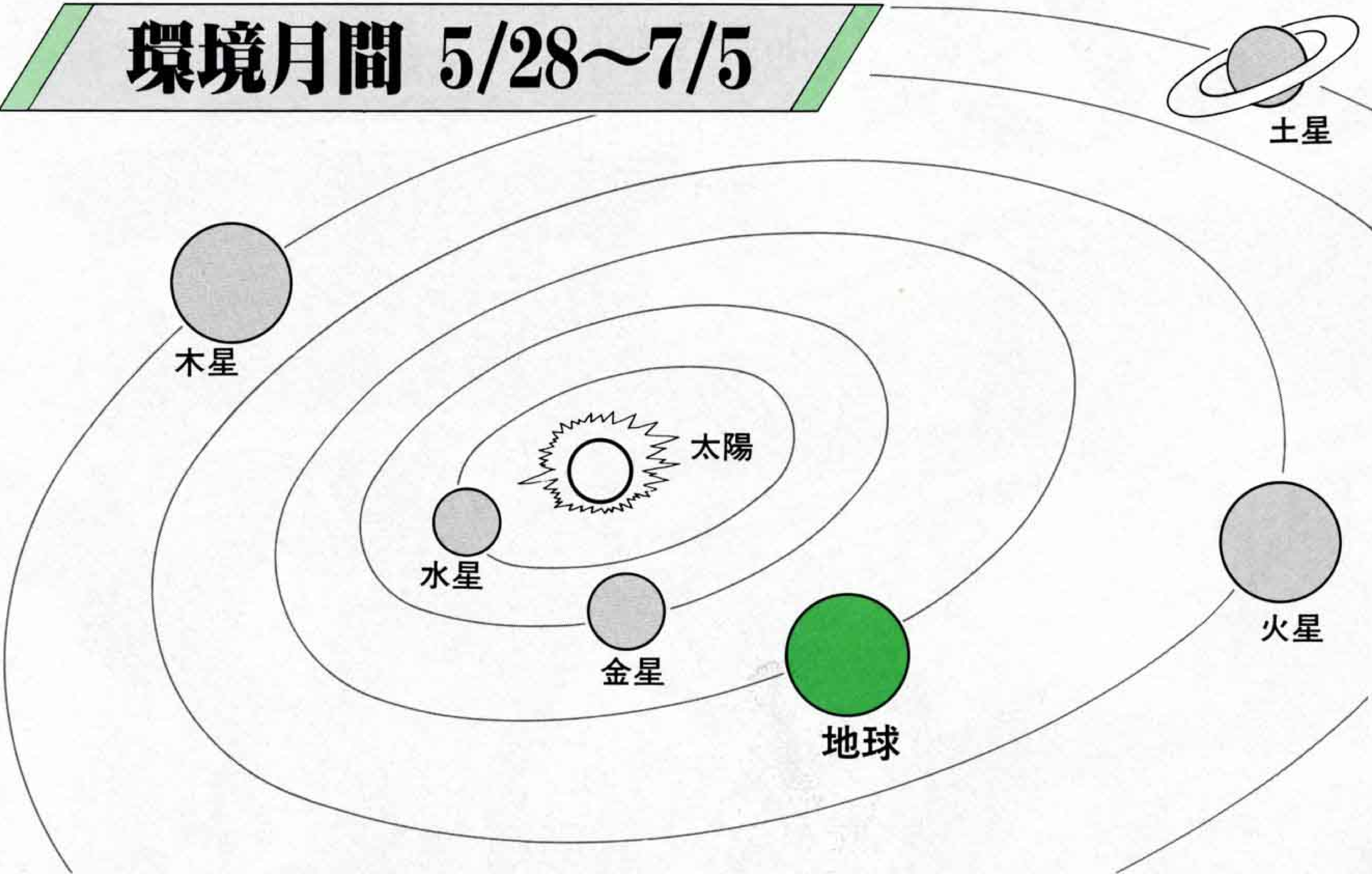


環境月間 5/28~7/5



力を合わせて 地球を救おう

地球の環境が悪化するのを食い止めようと、世界各国の代表がスウェーデンのストックホルムで、国連人間環境会議を開いたのが二十年前。当時本市では、田子の浦港のヘドロ処理が行われるなど、公害全盛の時でした。その後、排出規制の強化、企業努力などにより今では良好な環境になってきました。

しかし、地球規模ではオゾン層や、熱帯林の破壊など、地球上の全生物の生命を脅かすような事態を迎えつつあると言われています。私たちが力を合わせ、地球を救えるだろうか。

忘れないで、星の上に住んでいることを

地球が誕生したのは、四十六億年前と言われています。そして私たち人間が誕生したのは、二百万年前ごろのこと。地球の歴史と比べると、人間の歴史の短かさを感じてしまいます。

皆さんは普段の生活の中で、自分が宇宙に浮かぶ一つの星「地球」の上に住んでいることを、意識したことがあるでしょうか。スペースシャトルなどからの映像を、テレビなどで見るとき、感じるかもしれません。普段はほとんど忘れていていると思います。

しかし私たちは、そのことを忘れてはならないのです。地球でしか生きられないのですから。

わずか二百年で地球が危機に

イギリスに産業革命が起こり、人間が機械を使い始めたのは、わずか二百年ほど前のこと。この間に機械文明は進み、原子力を使うまでになりました。地球全体を眺めると食料や燃料が不足し、死亡率の高い国もあります。日本では自動車などの大型消費材を初め、食糧品も豊富にそろっています。しかし、製品の原料はすべて、

地球という星にある資源。いつか使いきってしまうでしょう。また、物をつくる過程で、大気汚染、水質汚濁、森林破壊などの原因となる物質が排出され、地球環境の危機が叫ばれています。

全世界の人々が環境破壊に脅かされて

今、地球の急激な温暖化が心配されています。原因は、工業や農業活動によって排出される、炭酸ガスやメタンガスなどの増加です。このままでは、西暦二〇三〇年代には地球の平均気温が、一・五から三・五度上昇すると考えられています。その結果、海水の膨張や北極などの氷の一部が溶けることにより海面が二十から百十センチも上昇すると言われます。この場合、エジプトのナイル川河口では、人口の一二％に当たる五百三十万人の住居と、一五％の耕地が失われると試算されています。本市でも、標高一〇以下の地域は、水没の危険があるわけです。

さらに、
○スプレーなどに使われたフロンなどによるオゾン層の破壊
すべて破壊されると、有害な紫外線がふえ、人も地上では生きていけません。
○酸性雨による森林の破壊
煙突などから排出された二酸化イオウなどが酸性の雨として降り、木を枯らす。など、全世界の人々が、地球規模の環境破壊に脅かされ、その対策に迫られています。

力を合わせてできること

「地球の環境が壊れかかっているって言われても、実感がないし、どうしたらいいんだろうか」。そうですよね。でも、普段皆さんがやっている分別収集なども地球のためになっているんです。

資源の再利用

昭和五十六年から始まった分別収集。同時に、缶や瓶の資源ごみとしての回収も始まりました。みなさんが協力して出した資源

ごみが、どうして地球の環境破壊を救うのでしょうか。

「瓶」は、市内九百四十六のステーションから集められ、厚原の三橋商店に運ばれます。そして、そのまま再利用できる瓶と、溶かして再生する瓶に分けられます。再利用は洗うだけ、再生する場合も、砂・石灰・ソーダ灰からガラスをつくるときの四分の三のエネルギーでガラスができます。

「缶・金属」も市内の三業者に運びます。アルミの場合、原料のボ



△古紙は手前のパルパーで溶解します



△瓶の選別は手作業で

下水道は

海をも救う

地球の表面積の七割を占める広大な海も、川からの汚染物資の流入、船などからの油の流出などで、汚染が進んでいます。四方を海に囲まれ、海との関係が深い日本にとっても、切実な問題ではないでしょうか。

下水道は、河川浄化の切り札として着々と整備が進んでいます。同時に海の汚染防止にも一役買っています。本市の普及率は、現在約三八%。毎年二%ぐらいずつ増える見込みです。

下水道が普及すると、川がきれいになる？

早川と幅一ほど水路に挟まれた家に住む遠藤茂作さん（水戸島）は、昭和五十五年に下水道へ接続しました。遠藤さんのお話です。「昔の早川の水を知っているから、まだきれいになったようには見えないね。川の水は富士宮から流れてくる。富士も富士宮も全部できれば、でも、少しずつきれいになっていくんだろうな」



△きたない水は出てないよ

地球を守る

心を育てる

毎年、本州の約半分の面積に相当する熱帯林が減少しています。本市の面積の何倍になるのでしょうか。

市は、樹木の多い公園づくり、鎮守の森の育成、市民緑化祭などにより、市内の緑化に努めています。地球全体のことを考えると、心もとない気もしますが、あわせて、樹木など植物のすばらしさ、大切さも感じてもらえたらと思います。

地球の温暖化を進め、森林を減らし、海を汚すなど地球の環境を破壊しているのが人間なら、これを回復できるのも人間。小さなことでも力を合わせ、地球を守るという心を、育てることが大切ではないでしょうか。



△生け垣補助制度を活用しました（伝法の牧野徳三さん宅）

問い合わせ

公害課 内線二〇七二